

PTSD 構造化面接 CAPSを理解する

本研修では PTSD 診断の際に必要な心構え、尺度、面接法について学びます。特に、臨床、研究、そして司法など、さまざまな場面で確定診断を付ける上で、重要な技法である構造化面接法を習得する機会になります。

今回取り上げる、CAPS(Clinician-Administered PTSD Scale)は、米国立 PTSD センターで開発され、現在もっとも精度の高い PTSD 診断用構造化面接尺度として広く知られています。

国際的にもこれまで各国で数多くの臨床研究、薬剤治験等で使用されてきました。日本語版も標準化されており、使用頻度の高い面接法です。今回の研修では、評価方法の概要を理解した上で、現段階の最新版である CAPS-5 について、旧版からの変更点、評価方法の要点についての講義、および動画を使ったデモンストレーションを初日に視聴していただきます。その後、1 週間以内にロールプレイを各自で行っていただき、実施方法に関する疑問点について検討する機会を設けます。

日時 1月22日・29日の両日とも参加要

令和4年1月22日(土)

13:30~16:30

令和4年1月29日(土)

15:00~16:00

実施方法

オンライン開催 (Zoom)

定員

30名

受講料

10,000円

講師

加藤 寛

(兵庫県こころの
ケアセンター長)

申込期限

11月30日(火)

17時必着

主催

兵庫県こころのケア
センター

兵庫県神戸市中央区
脇浜海岸通 1-3-2

後援

一般社団法人

日本トラウマティック・
ストレス学会



公益財団法人 21世紀文明の富強をめざして
ひょうご震災記念21世紀研究機構
Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Institute